

大阪市障がい者施策推進協議会部会

令和4年度 第2回 大阪市障がい者差別解消支援地域協議部会 議事要旨

1 日時

令和5年3月20日（月）午後1時30分から午後3時まで

2 場所

大阪市役所 屋上階 P1 共通会議室
(大阪市北区中之島一丁目3番20号)

3 出席者

(1) 委員（敬称略・五十音順）

井上 芳子	大阪市発達障がい者支援センターエルムおおさか所長
大畑 雅弘	株式会社ロイヤルホテル 人事部 審議役
川東 良文	大阪法務局 人権擁護部第二課長
北野 誠一	西宮市社会福祉協議会 共生のまちづくり研究研修所所長
北山 智美	社会福祉法人精神障害者社会復帰促進協会 港区障がい者基幹相談支援センター管理者
潮谷 光人	東大阪大学こども学部こども学科教授
末長 秀教	大阪市成年後見支援センター所長
辻川 圭乃	弁護士
手嶋 勇一	一般財団法人 大阪市身体障害者団体協議会会長
長谷川 美智代	社会福祉法人 大阪市手をつなぐ育成会理事長
福島 豪	関西大学法務部教授
藤井 涉	日本福祉大学社会福祉学部社会福祉学科准教授
古田 朋也	社会福祉法人あいえる協会代表
道藤 圭一	がんこフードサービス株式会社経営企画部次長
山本 深雪	大阪精神障害者連絡会代表
山野内 嘉昭	大阪シティバス株式会社 取締役安全営業部長

(2) 事務局

松村	福祉局障がい者施策部長
花田	福祉局障がい者施策部企画調整担当課長
松前	福祉局障がい者施策部障がい福祉課企画調整担当課長代理
塩谷	福祉局障がい者施策部障がい福祉課長代理
塩谷	福祉局障がい者施策部障がい福祉課長代理
福原	福祉局障がい者施策部障がい支援課長
高田	福祉局障がい者施策部障がい支援課長代理
長綱	福祉局障がい者施策部運営指導課長代理
笠原	大阪市立心身障がい者リハビリテーションセンター発達障がい者支援担当課長代理

(3) 事務局（推進チーム）

日野	総務局人事部人事課長代理
----	--------------

吉田 市民局ダイバーシティ推進室人権啓発・相談センター所長
柏田 健康局健康推進部こころの健康センター精神保健医療担当課長代理
馬場 健康局保健所管理課長代理
貴志 教育委員会事務局指導部インクルーシブ教育推進担当総括指導主事

(4) オブザーバー

佐賀井 経済戦略局企画総務部大学支援担当課長
松本 経済戦略局産業振興部産業振興課長
大家 健康局総務部総務課病院機構支援グループ市民病院機構支援担当課長代理
小川 水道局総務部総務課長代理

4 議題

- (1) 令和4年度 第1回障がい者差別解消支援地域協議部会の結果について
- (2) 相談窓口における対応状況（令和4年8月～令和5年2月）について
- (3) 令和4年度 研修・啓発の実績について
- (4) その他
 - ・ 令和4年度大阪市障がい者等基礎調査について
 - ・ 障害を理由とする差別の解消の推進に関する基本方針の変更について

5 議事要旨

事務局から各議題について概要を説明し、それに対して委員より意見があった。
主な意見等は次のとおり。

【議題1 令和4年度 第1回障がい者差別解消支援地域協議部会の結果について】

- ・ 住宅の入居差別が続いている。はっきり障がいを理由に断ると言われないものが多いので、「傾聴」に分類されてしまっているが、差別だということで声があがっているのだから、不当な差別的取扱いに分類をしてほしい。
- ・ 障がいのある人の暮らしぶりがわからなくて、漠然とした不安が入居拒否につながっていると考えられるので、例えば障がい種別ごとにビデオなどを作って、それを居住支援協議会で周知するというのはいかがでしょうか。
- ・ 国家試験の受験資格を得るために必要な研修受講の際の手話通訳者を求めた事案について、環境の整備の問題としてとらえるのではなく、合理的配慮の提供の観点から大阪市として提案をしていく必要がある。

【議題2 相談窓口における対応状況（令和4年8月～令和5年2月）について】

- ・ 保育・教育分野の啓発資料障がいによりマスク着用在が困難な方が、コンサートホールに入場できなかったという事案について、感染予防対策ガイドラインに合理的配慮の記載を盛り込んだ形で改訂していただいたので、来年のコンサートについて事前に話をしていただきたい。

【議題3 令和4年度 研修・啓発の実績について】

- ・ 都市整備局職員向けの研修について、障がい特性をわかりやすく伝えていただきたい、また、職員がやってはいけない対応についても加えていただきたい。